

地上デジタル防水テレビ 20型

設置説明書

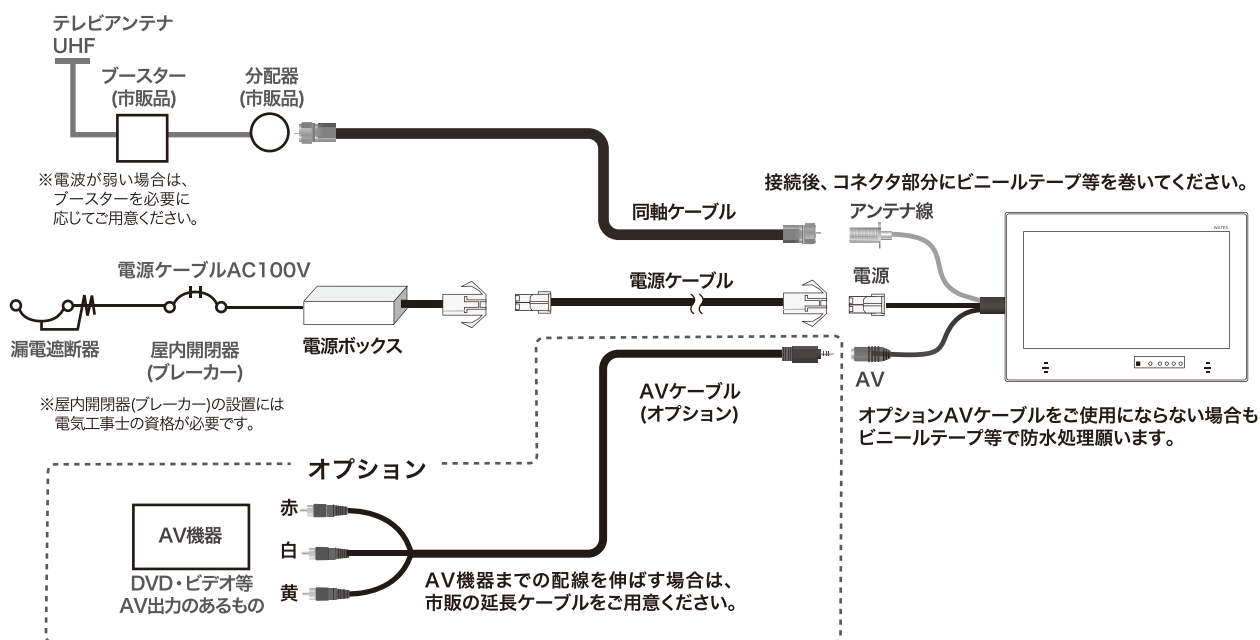


この度は地上デジタル防水テレビをお買い上げいただき誠に有難うございます。本設置説明書では地上デジタル防水テレビ本体への付属品の取り付け、設置方法を示しております。製品をご使用の前に本設置説明書ならびに取扱説明書をお読みにになり内容をよくご理解の上必ず注意事項をお守り下さい。

⚠ 設置上のご注意

6mのアンテナ同軸ケーブルを用い設置を行う場合、他のAC電源と絡み合わない様に（少なくとも30cm以上離して）設置して下さい。

■XL-202システム図



◆家庭のアンテナ線・室内アンテナを取り付けるには Fジャック部に家庭アンテナ線または室内用アンテナの端子を接続して下さい。

※室内アンテナを接続の場合には、室内アンテナ付属の取扱説明書を必ずお読みの上お取り付け下さい。

※コネクタ形状によってはお取付けできない製品もございます。

※電源ボックスは防水ではありません。水または湯の掛かる場所に設置しないでください。

※接続は下図の通りに接続を行ってください。間違った接続を行いますと火災や故障の原因となります。

⚠ 注意



禁止

強い衝撃を与えたり、落下させないでください。
※動作・外観が正常な場合でも内部の止水構造が壊れている可能性があります。



必ず実行

施工はこの設置説明書に従って確実に行ってください。(感電、火災、水漏れの原因になります。)
※この設置説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障が生じた場合は商品の保証をしかねますのでご注意ください。



必ず実行

漏電遮断機が取り付けられていることを確認する
もし取り付けられていなければ電気工事店へ依頼して必ず取り付けてください。感電する恐れがあります。



アース線接続

電気工事は、関連する法令・法規にしたがって、必ず『有資格者(電気工事士)』が行う。
接続や固定が不完全な場合は、火災や漏電の恐れがあります。

設置上のご注意

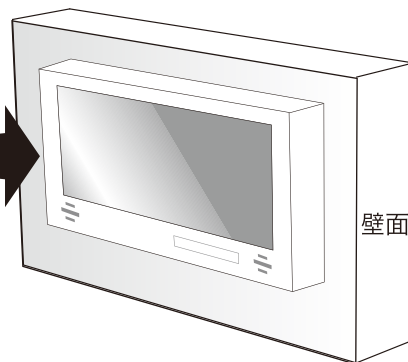
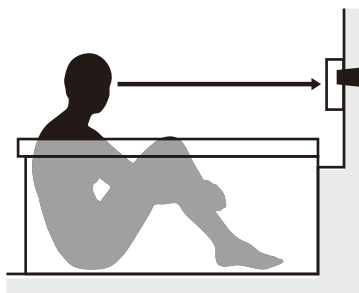
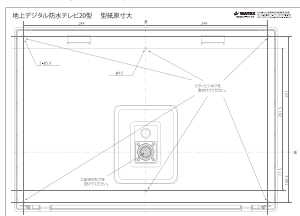
浴槽の中からモニタを正面に見ることのできる位置に取り付けてください。

※設置位置が視線より高すぎる場合、一部映像が見えにくくなることがあります。

※取り付ける際、付属の取付型紙(実寸)を合わせてご利用ください。

※本体下からビスを固定するための空間を確保できる位置に設置してください。

付属の取付型紙

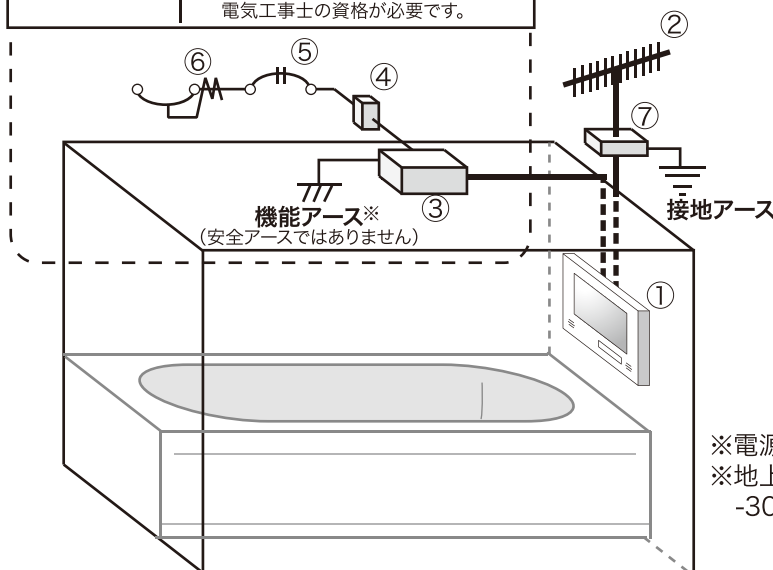


防水テレビシステム図(推奨施工図)



注意

工事の際は、必ず室内開閉機(ブレーカー)と漏電遮断機を設置してください。
※電気工事で配線します。
※室内開閉機(ブレーカー)の設置には、電気工事士の資格が必要です。



- ① 地上デジタル防水テレビ(ワータックス)
- ② UHFアンテナ
- ③ 電源ボックス※(ワータックス)
- ④ 避雷器
参考例
HA-13:音羽電気KK
- ⑤ 室内開閉機(ブレーカー)
- ⑥ 漏電遮断機
- ⑦ ブースターorアッテネータ
※電波が弱い場合はブースターを、電波が強い場合はアッテネータを使用して、適切な信号レベルに調整してください。

※電源ボックスが付かないタイプもあります。
※地上デジタル放送は -58dBm(50dBμV) 以上 -30dBm(79dBμV) 以下が必要です。

※機能アースとしてご使用になる場合は丸端子の下に菊座金をご使用されることをお勧めします。



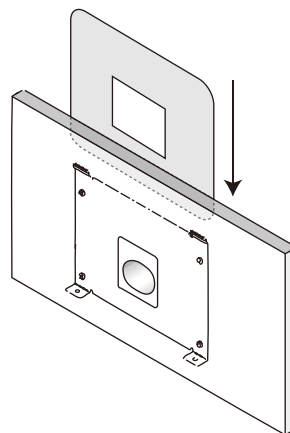
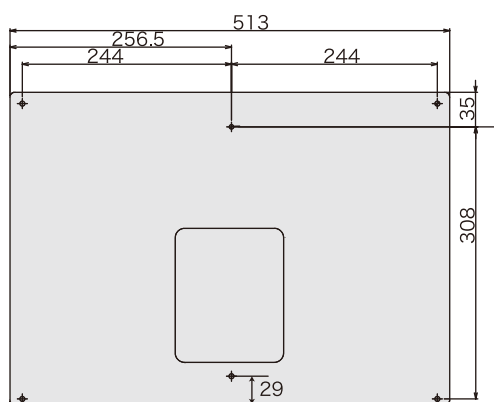
必ず実行

注意

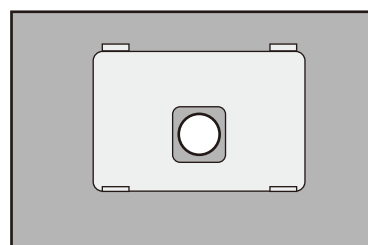
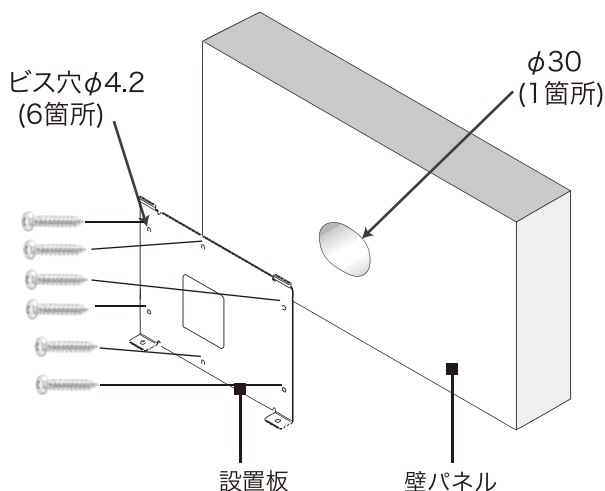
・落雷に備えて、アンテナ設備にアースを取るか、保安器を必ず設置してください。

※壁パネル裏面への補強板の貼付

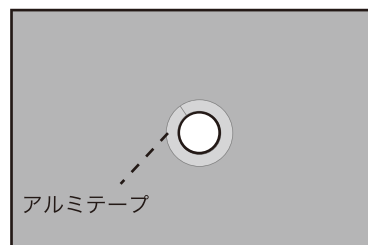
- ・壁が薄くて補強が必要な場合は下図の様な鉄板をご用意ください。
- 取付けは付属のステンレスの設置板と合わせて取り付けてください。
- ・穴の大きさはφ2.6～φ3.0です。



1: 防水テレビ本体設置



正面から見た図



裏面から見た図

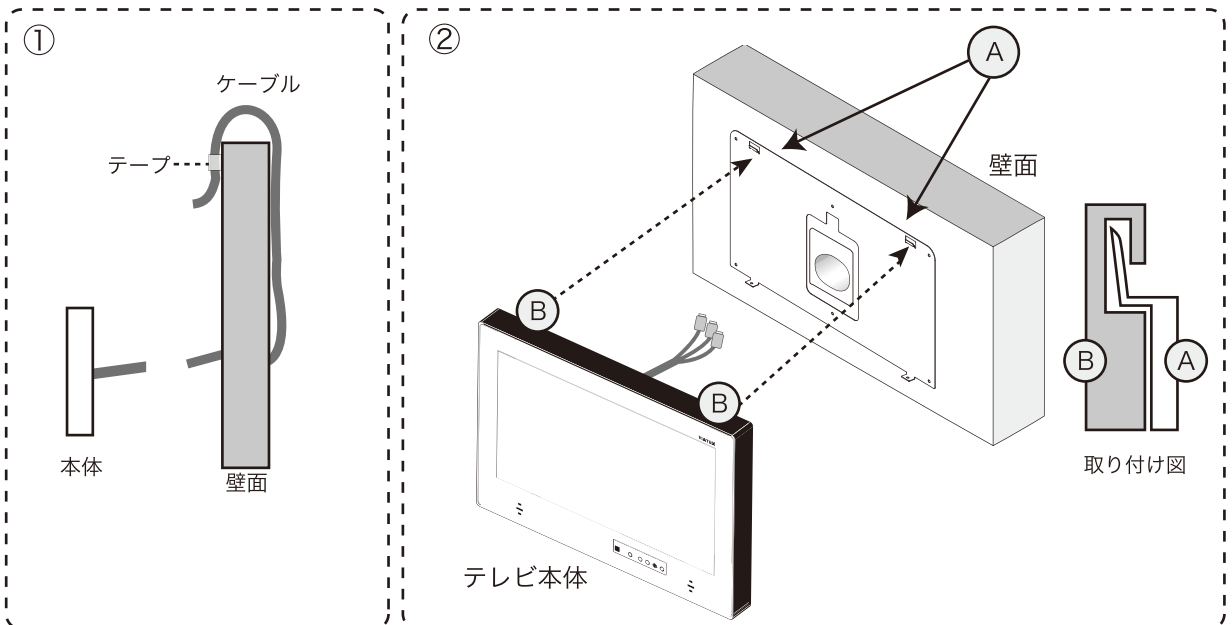
- ① 付属の取付型紙を使用し、取り付ける壁に取付穴位置をけがいてください。
- ② φ4.2穴(6箇所)とφ30穴(1箇所)をあけてください。
- ③ 設置板用ビス M4×25 (6箇所)を使用して、壁に設置板を取り付けてください。(ビス穴φ4.2×6箇所)

・ケーブル類を傷つけないよう、壁裏面小口に表面から見えないうにアルミテープを貼ってください。

⚠ 注意

設置板の端は鋭くなっていますので、取り付ける際には手袋をご使用ください。

2: 防水テレビ本体設置



①コード類を丸穴から通し、反対側を壁パネル上側から内側に向け、落ちないようにテープで固定して下さい。

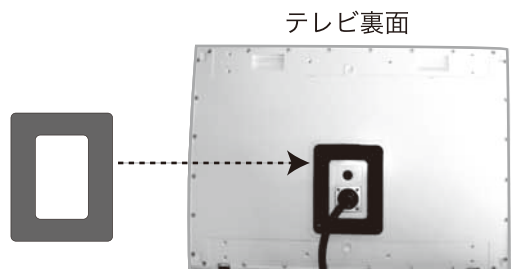
②設置板のA部分にテレビ裏面のB部分をしっかりと引っ掛けて設置して下さい。

※ケーブルを引張ったり、押し込んだりしないでください。

●防水スポンジの使い方について

本体背面部中央部に貼り付けてご使用下さい。

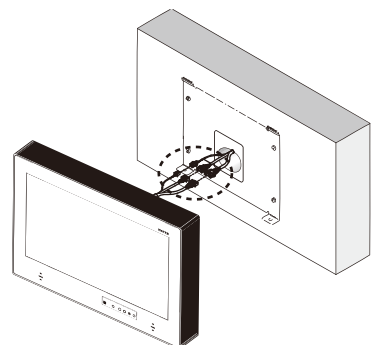
背面壁からの水滴が通気膜及び
ケーブル引出し口周辺に回り込
まないようにするため



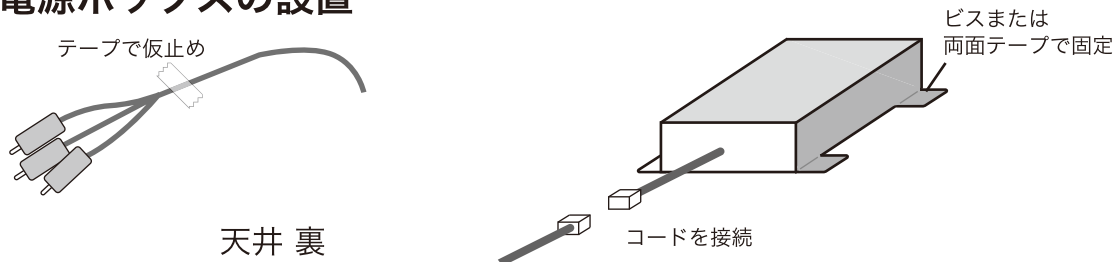
⚠ 注意

コネクターについて

コネクターは防水ではありません。水のかかる所、
湿度の高い場所は自己融着テープを巻き防水対策
をしてください。



3: 電源ボックスの設置

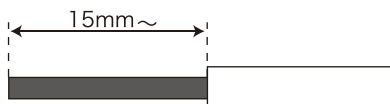


- ①天井パネルに取付ける際、コード類を天井裏面に落ちないようにテープで固定して下さい。
- ②電源ボックス付属の電源コードと配線した電源コードを接続して下さい。
- ③電源ボックスをビスまたは両面テープで固定して下さい。

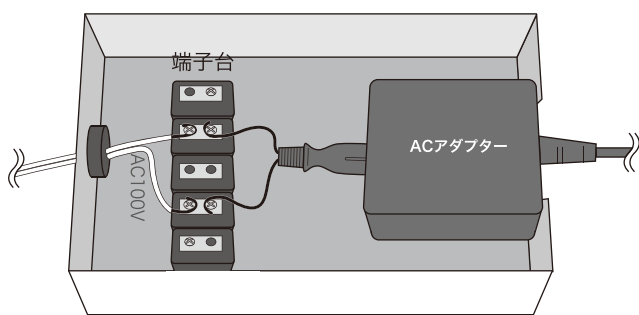
- ・電源ボックスは必ず天井点検口から点検できる位置に設置して下さい。
- ・両面テープで貼付ける際、貼付ける面をあらかじめ清掃して下さい。
推奨両面テープ：住友スリーエム VHB(Y-4825シリーズ等)
- ・設置完了後に、電源ボックスに断熱材等をかぶせないで下さい。

4: 電源ケーブルの接続

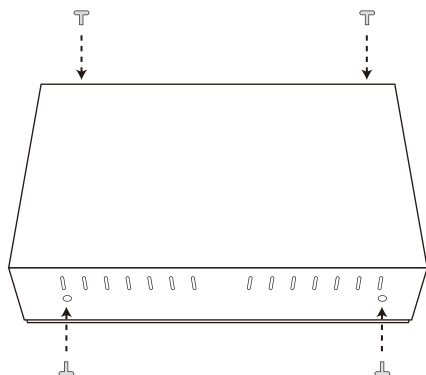
電源ボックスの端子に電源（VVF）ケーブルを接続して下さい。ただし、この工事には**電気工事士の資格が必要**ですので、電気工事店様に依頼する場合は、この設置説明書を浴室テレビ近くをよく見える場所に置いて下さい。



- ①電源（VVF）ケーブルの皮膜を左図のようにはがします。
※推薦径 $\phi 1.6 \sim 2.0\text{mm}$

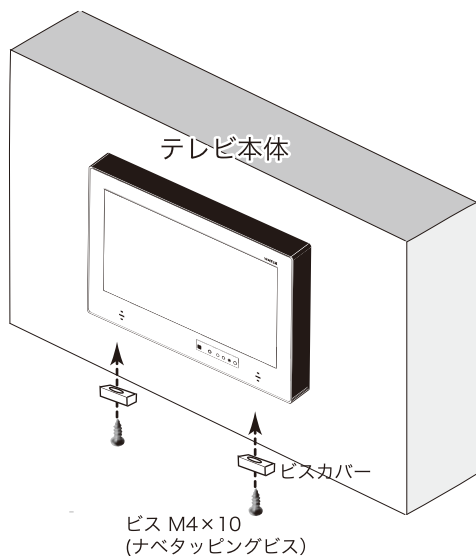


- ②電源ボックスの蓋を開け、電源（VVF）ケーブルを端子台のAC100V 入力側に取付けます。



- ③電源ボックスの蓋を閉め、付属のビス（4ヶ所）で固定して下さい。

5: 防水テレビ本体設置

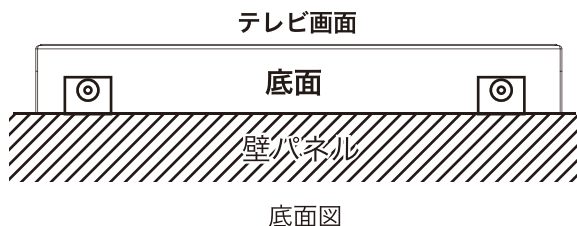
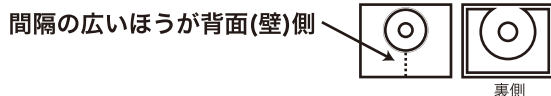


●テレビ本体下面ビスカバーの向きについて

【樹脂製（ホワイト）の固定材】

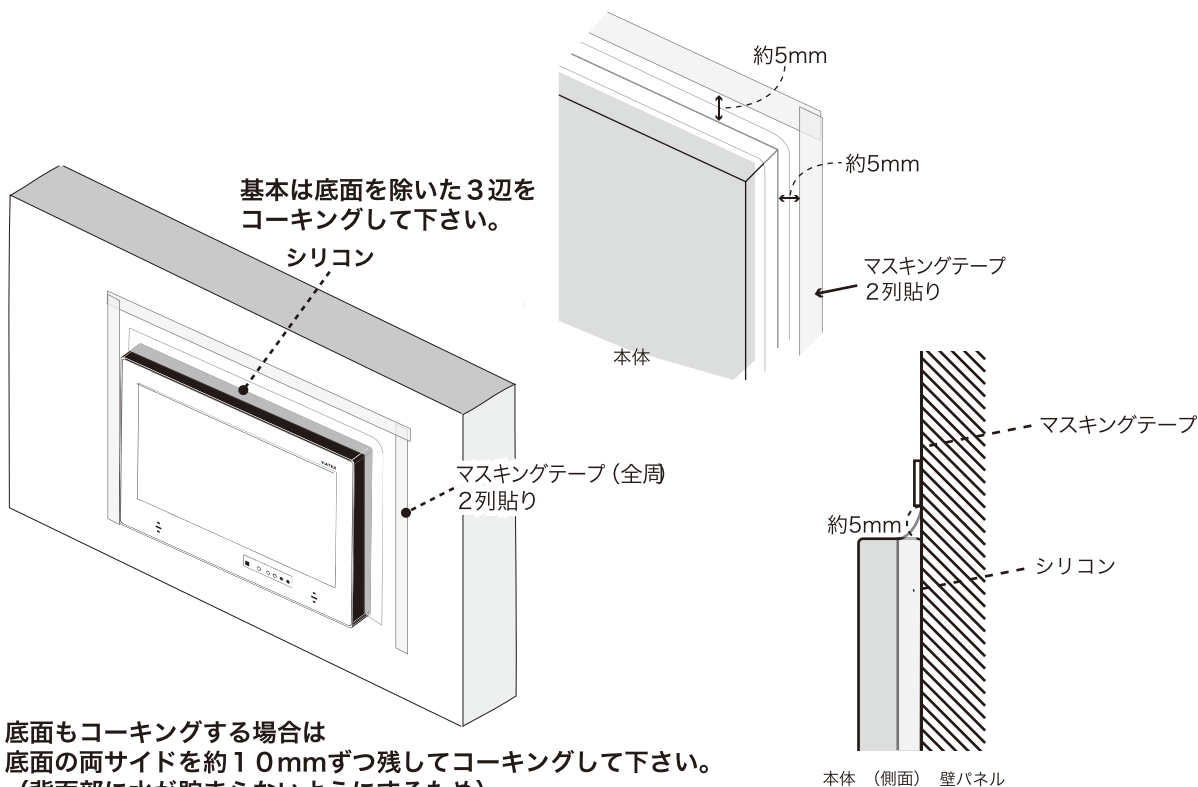
向きは以下の通りです。

この向きでビスカバーを取り付けてください。



① テレビ底面をビスカバー用ビス(M4×10)で2箇所、固定して下さい。

・ 固定は必ず手締めで行ってください。電動ドライバを使用すると本体を傷つける可能性があります。

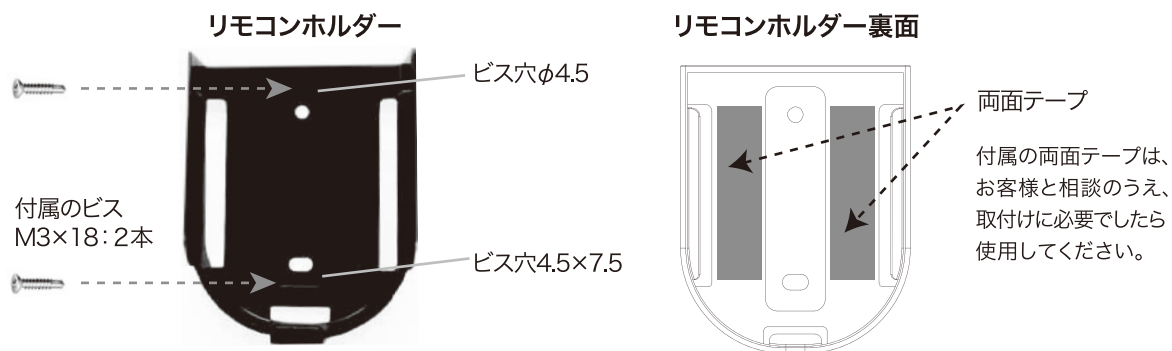


② 壁パネルに本体と約5mmの間隔を空け、マス킹グテープを貼って下さい。

③ テレビ本体の周りに指示の通りシリコンを塗布してください。

指定の通りに塗布されていないと、テレビ裏面に水気が侵入し故障や漏水の原因となります。

6: リモコンホルダーの設置



① オプションリモコンのホルダーの取り付け位置を決定してください。

- ・ 取付け位置はお客様と相談の上、決定してください。
- ・ 日光が直接当たる場所、暖房機の風が直接当たるような場所、シャワーや水が直接かかるような場所には設置しないでください。

② オプションリモコンのホルダーを付属のビス2本で壁面に固定してください。

※ビス穴にはシリコンを充填してください。